

輸出事業計画

※申請者名：株式会社ダイショー、品目：たれ・ソース、混合調味料

1. 輸出における現状と課題

- 焼肉のたれ、照り焼きのたれ、牛丼・豚丼のたれ、鍋スープ等のソース混合調味料を台湾、中国、香港といったアジア圏や北米等へ輸出
- BtoC向けが主であり、小売店における食材と合わせた鍋スープ等のプロモーションやSNSを活用したインフルエンサーによるプロモーションを実施
- インドネシア・マレーシアを始めとするイスラム圏への輸出には、製品の製造環境・プロセス・品質においてハラールの基準に適合している必要がある
- アジア圏・アメリカ向け輸出に加え、輸出の高い伸びが見込まれる輸出先開拓が必要
- 外食産業における価格差による現地調味料の競争優位性が課題であり、現地のフュージョン料理店、アジア系外食チェーン等での取扱拡大を行いたい

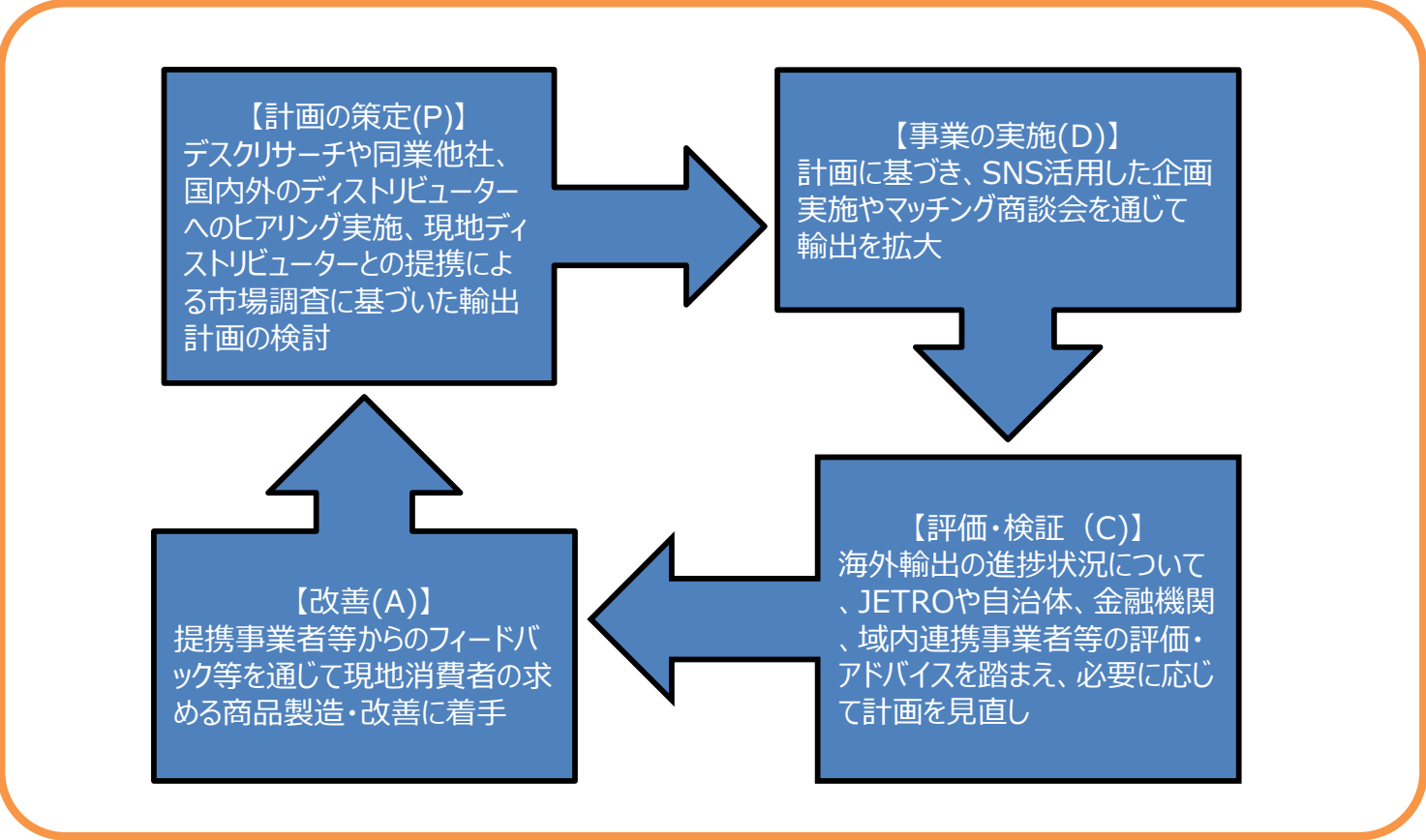
2. 輸出事業計画の取組内容

- イスラム圏への輸出拡大に向け、ハラール輸出商品のための専用ラインを既存の設備において新設
- 新規輸出先国として設定するインドネシアに関して、海外の現地ディストリビューターと連携実施する現地市場調査に基づいた販売拡大戦略の確立（2021年度実施）
 - 試食会を開催し、在日ムスリムを招待し、ニーズ等の調査・検証
 - 現地レストランシェフへの商品提供による、フィードバック収集
 - 社内プロジェクトメンバーに対するハラール認証に関する研修実施
 - 専門家の工場視察による、ハラール認証取得に向けた改善点・アドバイス受領
- 上記収集データを用いて、商品開発・展開施策を検討、実施（2022年度～23年度）
 - 業務用販売チャネルを確立するため、現地バイヤー向けの試食会・商談会を実施
 - 現地の市場・消費者ニーズ・規制に沿った商品開発に向けた検討の推進
 - 商品認知拡大のため、SNSやインフルエンサーの活用などの販促戦略検討
- 市場規模の大きい中国向け輸出におけるEC販売の拡大

輸出事業計画

※申請者名：株式会社ダイショー、品目：たれ・ソース、混合調味料

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	【現状】 (令和3年度)	【目標】 (令和12年度)
輸出額	-	前年比115%を継続
主な輸出先	中国・香港・台湾・アメリカ等	中国・香港・台湾・インドネシア・マレーシア・アメリカ等

- たれ・ソース、鍋スープを中心に輸出展開
- 東南アジア向け輸出は4倍の拡大を見込む